

令和7年度 第2回 天王寺区区政会議

日 時：令和7年12月4日（木）

午後7時00分～午後8時54分

場 所：天王寺区役所 3階 講堂

出席者

（区政会議委員）

大宗委員、岡内委員、酒井委員、樋口委員、宮寄委員、山田委員、吉田委員、津田委員、中野委員、服部委員、平嶋委員、石井委員、高橋委員、竹田委員、東川委員、長谷川委員、樹井委員、森谷委員、菊山委員、中山委員、福崎委員、藤原委員、舟本委員、松川委員、吉井委員

出席25人／定数31人

（市会議員）

金子議員

（天王寺区役所）

末村区長、松永副区長、高嶋企画総務課長、中事業戦略担当課長、
高橋（典良）企画総務課長代理、武部市民協働課長、
前田市民協働課地域活動支援担当課長代理、
北島市民協働課安全まちづくり担当課長代理、
原田教育文化担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長、
近藤市民協働課教育文化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課天王寺区
教育担当課長代理、田中保健福祉課長、森本保健福祉課福祉サービス担当課長代理、

住田子育て支援担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長、
高橋（幸子）保健・生活支援担当課長、辻野保健福祉課保健・生活支援担当課長代理、
寺戸窓口サービス課長、佐梁窓口サービス課保険年金担当課長代理
斎藤企画総務課担当係長、福井企画総務課担当係長、福田企画総務課担当係長

○中事業戦略担当課長

定刻が参りましたので、ただいまより令和7年度第2回天王寺区区政会議を開催させていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。
私は、天王寺区役所事業戦略担当課長の中でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

まず、先日お送りいたしました資料につきまして、本日お持ちでない方がいらっしゃいましたらお申し出ください。手を挙げていただきたらお渡しさせていただきます。いらっしゃいませんでしょうか。資料のない方いらっしゃいましたら。あちらの方にお願いします。ほかに資料をお持ちでない方がいらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。いらっしゃいませんでしょうか。それでは続けさせていただきます。

資料につきまして、少し訂正がございます。資料2、令和8年度運営方針（素案）と書いている資料ですけれども、そちらの2ページ目、目次の部分でございます。その目次の情報発信班関係と書かれているページが16から19ページまでとありますけども、18ページまでの誤りでございます。

もう1点、運営方針策定のスケジュールのところは、20ページと記載させていただいておりますが、19ページの誤りでございます。

申し訳ありません。お手数ですが、お手持ちの資料について、ご修正をお願いいたします。

それでは議題等に入ります前に、本日ご出席の委員の皆様を紹介させていただきます。本日ご出席の委員の皆様につきましては、机の上に置かせていただいている配席

図のとおりでございます。令和7年10月1日から令和9年9月30日を任期として、地域団体のご代表23名様、公募委員8名様、合わせて31名様の方々にご就任いただいております。ご就任いただきました委員の皆様は、資料1、区政会議委員名簿（班別）のとおりでございます。個別のご紹介は割愛させていただきます。

なお、本日、子育て・教育班、佐藤委員、地域福祉・健康班、江畠委員、奥野委員、橋本委員、地域社会づくり班、米川委員は、欠席の旨、ご連絡いただいております。地域福祉・健康班、堀井委員はまだ来られておりません。

また、本日の区政会議にはお忙しい中、金子議員にもご出席をいただいております。ありがとうございます。本日も議題の最後にご助言・ご意見をいただきますよう、お願い申し上げます。

なお、須藤議員におかれましては体調不良により急遽ご欠席となりました。委員の皆様にはくれぐれもよろしくお伝えくださいとお聞きしておりますのでよろしくお願ひいたします。

なお、本会議は公開となっております。会場内のカメラ撮影は議事の全てを対象とさせていただきますことをご了承願います。議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音させていただいております。また、全市的な取組として、多くの方に会議の模様をご覧いただけるように、会議の内容を録画の上、後日インターネット配信を行いますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

本日の会議は傍聴の方がお見えです。本会議は分科会形式で進行してまいります。各班での意見交換の際、傍聴者の方は後ほど移動する各会議室を回って傍聴していただいて差し支えありませんが、傍聴要領を遵守いただきますようお願いいたします。

なお、本日の区政会議の様子を広報紙等に掲載いたしますので、会議中、何枚かお写真を撮らせていただきますことをご了承いただきますようお願いいたします。

職員からの説明は、「端的に簡潔に」を心がけさせていただき、できるだけ委員の皆様のご意見をお聞かせいただきたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお

願いいたします。

それでは次第に戻らせていただきます。

まず最初に、末村区長よりご挨拶申し上げます。

○末村区長

区長の末村です。皆様方には急に寒くなつてまいりました中、本日ご参加をいただきまして、ご出席賜り本当にありがとうございます。

10月の改選によりまして、12名の新たな委員をお迎えしての初めての区政会議ということになります。当然ですが、大阪市には皆様が貴重な1票を投じてお選びいただいた市会議員の、今日本日ご出席いただいている市会議員の方々がおられる市議会があつて、それに加えて24区どの区も同じ方法で開かせていただいているのが、この区政会議ということになります。なかなか、このこともあのことともというふうにお聞きができるよろしいのですけれども、決まった要綱というのがございますので、そういったことが分かるように、皆様のお机の上に、このパウチの資料のほうは必ず置かせていただいております。先ほどの委員31名の皆様の中には、公募の委員の方、そして地域のほうからご推薦いただいた委員の方と2つの立場の方々がご出席をいただいているということから、こちらを議題とさせていただいております。

本日の議題については、令和8年度区運営方針、こちらの素案というふうになっておりますものに対して、この案を取る前の段階で委員皆様方のご意見を賜り、反映をしてということから、こちらを議題とさせていただいております。

区役所側からの説明については、できるだけ皆様のご発言のお時間をたくさん取りたく思いますので簡潔にというふうに指示をしておりますので、どうぞご理解賜りますようよろしくお願ひを申し上げます。

では、本日限られた時間ではございますけれども、どうぞ忌憚なく、いろいろなご意見賜りますようよろしくお願ひを申し上げます。

以上でございます。

○中事業戦略担当課長

それでは、次第に沿いまして、議長及び副議長の選任に移らせていただきます。

本日、資料としてはおつけしておりませんが、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条では、区政会議の委員は、その互選により議長及び副議長を選任するものと記載されています。10月1日からの新たな任期での初めての区政会議となりますので、議長及び副議長を選任する必要がございます。

まず、議長の選任ですが、事務局としましては、区地域振興会のご代表であります、竹田委員にご就任いただいてはどうかと考えます。

また、副議長の選任につきましては、事務局といたしましては、区社会福祉協議会のご代表であります、服部委員にご就任いただいてはどうかと考えますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○中事業戦略担当課長

ありがとうございます。ご異議がないようですので、竹田委員、服部委員に就任いただきたいと思います。

お二方は、議長席・副議長席のほうにお移りいただきますようお願いいたします。

それでは、竹田議長からご挨拶をお願いします。議長よろしくお願ひいたします。

○竹田議長

ただいま議長に選任されました竹田でございます。

本日は区政会議ということで、皆さんのがんばりのないご意見をいただきたいと思います。また、議事進行に当たりましては、皆様のご協力、ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げまして、議長の就任の挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひします。

(拍手)

○中事業戦略担当課長

竹田議長、ありがとうございました。

それでは続きまして、服部副議長、ご挨拶をよろしくお願ひいたします。

○服部副議長

ただいま副議長に選任をいただきました服部でございます。

皆様方のご協力をいただきながら議事進行に努めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(拍手)

○中事業戦略担当課長

それでは、服部副議長、進行をよろしくお願ひいたします。

○服部副議長

本日は皆様のご協力の下、会議が有意義なものとなりますよう進めてまいりと思想ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

まず初めに、事業戦略担当課長より、本日の流れを説明いたします。

○中事業戦略担当課長

本日の議題は、令和8年度天王寺区運営方針（素案）について取り扱うこととします。

議題について、まず末村区長より説明の後、意見交換に移っていただきます。

本日は分科会形式による各班での意見交換をお願いします。班ごとに担当するテーマ・経営課題を中心に、8時20分頃まで各班でご議論いただき、その後、各班で出された意見等を報告、全体で共有いたします。

司会進行は、各施策・事業を所管する課長、課長代理が担当いたします。

議題については、8時40分頃に終了し、引き続き区長より一言申し上げます。

最後に、金子議員よりご助言、ご意見をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、事前にお送りしておりました令和7年度区政会議に関するアンケートにつきましては、本日の会議終了後にご提出いただける場合は、お帰りの際に事務局にお渡しください。本日ご提出いただけなくとも構いませんので、12月12日までに郵送くださいますようお願いいたします。

流れの説明は以上でございます。

○服部副議長

それでは、末村区長より、資料2、「令和8年度天王寺区運営方針（素案）について」の3ページから5ページを中心に説明をお願いしたいと思います。

末村区長、お願いいたします。

○末村区長

ありがとうございます。では、私のほうからご説明を申し上げますもの、資料の2、横版になっております資料でございます。こちらの3ページから5ページについてをご説明させていただきます。

実はこの運営方針の素案でございますけれども、令和8年度というふうにつけております。これは単年度のものでございまして、じゃあもう少し中期、5年程度のものについてはどこに書かれているのということでございますが、これは天王寺区の将来ビジョンというものになります。ここに書かれているものの大きな柱に沿って、1年ごとの計画をこのように運営方針という形で整理をさせていただいております。したがって、そこに皆様方のご意見を反映させていただくというようなものでございます。

3ページ、まず目標について、ご説明いたします。

何を目指すのかについてですが、「みんなの「思い」が区政に反映されているまち」、それから2つ目、「子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べるまち」、3つ目、「だれもが安全で安心していきいきと暮らし続けられるまち」、4つ目、「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」、5つ目、「つながり合い、支え合い、助け合うまち」が区の目標でございます。

次に、4ページ、区の使命、どのような役割を担うのか。

より区民に身近な立場から「ニア・イズ・ベター」を徹底し、地域の特性に応じた施策・事業を展開する。2つ目、持続可能な財政運営を図るために、選択と集中を進め、子どもたちの健やかな成長と教育に必要なサポート、支援を要する人への福祉の強化を図るとともに、災害対策への予算の重点配分を行うということを使命としております。

5ページに入ります。経営課題を4点、整理をさせていただいております。区の運営の基本的な考え方になります。

経営課題の1、子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べる環境づくり。地域特性を活かして子育て・教育施策に取り組み、安心して子育てができる環境づくりを進め、子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べるまちを目指します。

経営課題の2、気にかける・つながる・支え合う地域福祉。支援を要する方々について見守りを推進するとともに、交流機会の充実を図ります。健康でいきいきと暮らせるまちを目指し、健康増進の取組を展開します。

経営課題の3、大きな公共を担う活力ある地域社会づくりと地域の力を結集した「防災力」向上の取組。地域一体となった地域課題解決、地域活性化に取り組む「地域活動協議会」の運営支援とともに、地域の力を結集した「防災力」の向上及び防犯対策の強化に取り組みます。

経営課題の4、歴史的・文化的資産を活かした積極的な魅力発信による地域の活性化。天王寺の豊富な歴史的・文化的資産を活かし、地域の取組と連携することで、まちのにぎわいと活力の創出に取り組みます。

以上、私のほうからの説明でございます。

○服部副議長

末村区長、どうもありがとうございました。

それでは、これからは班ごとの意見交換に移ってまいります。

事業戦略担当課長から案内をお願いいたします。

○中事業戦略担当課長

それでは、班ごとの会議室をご案内させていただきます。子育て・教育班は5階の市民活動団体交流スペースへ、地域社会づくり班は5階の502会議室へ、情報発信班は3階の301会議へ、地域福祉・健康班はこのままこの講堂で行います。係の者が後ほどご案内いたします。

金子議員につきましては、よろしければいずれかの班、または順次各班を回っていただき意見交換の様子をご覧ください。

各班で議論いただきまして、こちらへの戻りを8時20分でお願いしたいと思います。

それでは、係の者は皆さんを各会議室までご案内ください。

(分科会討議)

○服部副議長

皆さん、おそろいになられたようですので、それでは各班で出ました意見等について、記録係より報告をお願いいたします。

○子育て・教育班記録係（高橋課長代理）

では初めに、子育て・教育班関係について、ご報告させていただきます。

外国からの編入児童・生徒の急増に対するコミュニケーションについて喫緊の課題ということで、区役所のほうからも課題認識をしておりまして、それについて多くのご意見をいただきました。

いただきましたご意見につきましては、外国の方がかなり多くなっているという実感もすごく感じておられるということが共通されておりますけれども、あと子どもさんに対してコミュニケーション、言葉が分からぬ中で教育安全面からもなかなか安

全確保が言葉が分からなければ確保することもできないので、そういったところについても早急に対処が必要じゃないかといったご意見。また、保護者の方もなかなかコミュニケーションが難しいということもあって、保護者へのコミュニケーション教育も必要なんじゃないかというご意見をいただきました。

そのほか、各学校での翻訳機などのコミュニケーションについて、いろいろ取組をされているのですけれども、なかなか限界もありまして、日本人の子ども・外国人の子ども、共に教育の機会を平等に与えられる必要があるのではないかということで、それに対して外国人の方がちゃんと平等に教育を受けることのできるような拠点校をつくって、外国人の子どもの方にも教育の機会を与えるべきではないかなというご意見をいただいております。そのほうが各校でそれぞれ対応しているよりも、学校の先生の負担も軽減されるのではないかという話がありまして、そういった拠点校をつくることのような抜本的な対応が必要なんじゃないかと。それはなかなか区単位では難しいので、区単位ではなく市全体での取組も必要じゃないかというご意見をいただきました。

そのほか、外国の方、いろいろコミュニケーションの問題・課題もあるのですけれども、例えばその外国の方の強みというのを活かしていただくような場というのも設ける必要も重要なんじゃないかというご意見をいただいております。例えば、区民まつり等で外国の方のブースを設けるといったことも一つではないかというお話をでした。

また、区で実施しております乳児の全戸訪問事業、これちょっと外国の方の分とは違うのですけれども、保健師の方の訪問があって、質問内容についてはママが子育てをすることを対象とした、前提とした内容になっておりまして、これだけ男性の子育て育休、子どもの子育てに協力しているような状況もあるので、男性も想定したような視点も持った質問内容も必要なんじゃないかというご意見をいただきました。

あと、不登校の関係ではございますけれども、スクールカウンセラーの配置についても、週一度専門的な知識のあるスクールカウンセラーが来られるのですが、ニー

ズも高いのだけれども回数も少ないということもあって、相談したくても、緊急な課題があっても間が空いてしまっては効果が減るということもありますので、スクールカウンセラーが自由に動けるような日にちも確保した上で、緊急対応ができるような人的リソースを配置できるような、そういう取組も必要なんじゃないかというご意見をいただきました。

あと、不登校の関係でいきましたら、なかなか学校に行けなかった子どもが、子ども会の活動を通じて学校に行けるようになった子どももいらっしゃるということで、子ども会への活動についても目を向けてもらえるような支援もしてもらえるといいんじゃないかというご意見もいただきました。

あと、不登校につきましては、学校で教室のほかに別の部屋をつくって、いつでも来られるような部屋を、5人から8人ぐらい入れるような規模の大きさのお部屋らしいですけれども、そういうところを確保することで、週1回でも学校に来られるようになった事例があるというご案内をいただいたとともに、ただ、それに対応するような学校の先生ですとか対応できる人間というのが不足している状態なので、そういったところに措置していただくような内容も必要なんじゃないかというご意見をいただきました。

あと、子どもの課題があると言葉で言われても、数字的なものがどこに載っているのかを教えてもらうとイメージが湧きやすいんじゃないかというご意見をいただきました。

また、学校の中で子どもが参加できる、言葉で学べる、コミュニケーションもできるというような社会実験的な教室をつくってみれば、子どもも一緒に参加できて課題も解消できるような取組になるんじゃないかというお話をいただきました。

あと例えば、国によっていろいろ課題が違ったりもするかなというところもあって、例えば中国の方は相談事があればここに電話してくださいとか、別の国の方はここに電話してくださいというふうな、別に相談先を設定することで学校の負担が減るので

はないかというご意見もいただきました。

また、地域のほうで外国の方に発信したい、お伝えしたいことがあっても、なかなか日本語を外国語に訳することもできないということもありますので、どこか頼めるところ、相談できるようなところがあれば、かなり外国の方で日本語が分からぬ方にも発信することができるんじやないかというご意見もいただいたところです。

以上になります。

○地域福祉・健康班記録係（福田係長）

では次に、地域福祉・健康班で委員の皆さんから出たご意見のほうを共有させていただきます。

まずは、高齢者等見守り支援事業のうち独居高齢者等見守りサポーター事業について、見守り対象者が現在のところ300人ぐらいという数字に対して、その独居高齢者全体に対しての率としては少ないのでというご意見がありまして、それに対して区役所のほうから、対象者については75歳と80歳になった方、かつ介護保険を使われている方を除きまして希望されるかどうかということのお手紙をまずこちらから送って、お返事のあった方をその名簿に入れておりますというご説明をした上で、さらにそのお手紙について見守りは不要ですよと言われた方の、その不要とおっしゃった理由についても分析した結果、まだ自分は元気です、であるとか、近くに親族がいますので見守りは不要です、という理由が多いということを把握しているというご説明をさせていただきました。

あとは、見守りに関して民生委員の方等から、例えばセキュリティの高いマンション等が増えてきた関係で、なかなかオートロックのところにエントランスのところから中に入りにくいであるとかそういう声を聞いていますというお話が出まして、それに対しては、例えばあらかじめその対象のマンション、ご希望されるマンションに対して、こういう見守りをやっていて、こういう方が訪問されますという周知をしていくあるとか、お電話であらかじめそのご本人にお話をしておくあるとかという工

夫をしているという話になりまして、あとはその見守りをされている方の区全体の会議で、各地域でどういう工夫をしているのかという紹介をするような機会をつくっておられるというお話になりました。さらに、スクール形式でのそういう会議ではなくて、一人一人が話合いをお互いにできるようなワークショップ形式にすると全員がご自身の経験とかご意見をしゃべることができるので、地域間のばらつきというものを高いほうにそろえる形でアップさせることが地域全体の見守りの力というのを上げられるんじゃないでしょうかというご意見をいただきました。

次に、健康のための取組としまして、地域における通いの場の拡大ということで、素案の10ページのところに、通いの場を令和6年度116か所設けましたという説明があるのですけれども、この具体的にこの116か所はどこですかというご質問がありましたので、この116か所というのは、例えば同じ会場でやっていたとしても、100歳体操であるとか高齢者食事サービス、それぞれの団体ごとに1か所として計上して116か所ですということをご説明させていただきました。

あとは、がん検診の周知に関してのご意見もいただきまして、区役所から周知の勧めというのをしていますという説明にはなっているのですけれど、ちょっとご意見として委員の方は、どういう周知をしているのかというのを見たことがないし、あまり思い浮かばないというご意見があって、それに対してさらにいただいたご意見として、ナッジの理論を活用してみて、チラシとして区役所から言いたいことをいろいろ詰め込んだチラシではなくて、手に取った方が何だろうと思って思わず開いてしまって見てしまうような工夫をした広報物をつくってはどうかというご提案がありました。ほかの自治体で、そのようなナッジ理論を活用した広報物を使った結果、受診率が10%から20%程度アップしたという事例も教えていただきまして、天王寺区役所としても、この「がん検診受けるの忘れてへん?」というこういうチラシをつくったりもしたのですけれども、さらにちょっと皆様にがん検診を受けていただけるような広報物をこれからも工夫してつくっていきたいと考えています。

以上です。

申し訳ありません。最後の話で紹介が漏れているものがありました。ご意見として、回覧板等の現在の広報の方法では届かない区民がいらっしゃるので、さらに別の広報の手段を増やしてはどうかというご意見もありました。

ありがとうございます。

○地域社会づくり班記録係（齋藤係長）

では次に、地域社会づくり班でお話をしたことをご紹介させていただきます。

今回こちらの班では、地域コミュニティづくりと地域活動の活性化ということについて、より効果的な広報とするためのアイデアをご意見いただきたいとお話を始めたのですけれども、皆さんのいらっしゃる地域での事情などで、いろいろなご意見が尽きないことで、ご意見たくさんいただいたのですけれども、大きな課題といたしまして、やはりマンションの課題です。例えば外国人の方が増えているとか、新しく入ってこられる住民の方が町会などとのつながりを求めていないという課題が皆さん同じように感じていらっしゃることでして、今後、天王寺区ではどんどんタワーマンションなども増えていく状況にありますので、そういう課題がますます大きくなっているのではないかという心配事のご意見をいただきました。

そういう課題につきましては、地域の事情などいろいろなパターンもあるので、一朝一夕にはなかなか解決するようなことも難しいのだけれども、もっと検討は続けていかないといけないと皆さん共通のご認識をお持ちでいらっしゃいました。

新しいつながりを求めていない方が多いということもありながら、とはいえてやはり皆さんの地域のつながりは大事ですよねということで、一つの実例として、地域のお祭りなど事業をたくさん実施することで新たなつながりを生み出すということを期待して活動されている地域もあるという例をお伺いいたしました。たくさんの方にイベント、お祭り事などに参加していただこうと思いますと、広報ですか周知というのがすごく大事になってくるというところもありまして、実際に一つの地域では、

3か月くらい前からそういうイベントのポスターなどをいろんなところに貼ったりと、人に来ていただくようにしているというご意見がありました。その中で、区の広報紙というのはよく見てくださっていると思うというご意見をいただきまして、今後、そういう地域のイベントですとか地域のつながりづくりということに関して、区の広報紙などでのPRもしていただければいいなというご意見がありました。

こちらは以上でございます。

○情報発信班記録係（福井係長）

それでは、情報発信班で出たご意見を発表させていただきます。

全体を通して、天王寺区が持っている歴史的・文化的資産を活かした魅力発信の方策についてのご意見が中心でした。その中で、区役所だけでなくて区民の方であったり事業者の方で情報発信ができるようなプラットフォームの構築を目指してはどうかというご意見と、それに伴って情報発信や情報収集に関して外部委託することも検討してはどうかというご意見をいただきました。例として、四條畷市であったり、千葉市の方でSNSを活用した広報で実績を上げているというのを教えていただきましたので、今後参考にしていけたらと思っております。

また、SNSの発信に当たってですけれども、自治体のアカウントでの発信ということになりますので、投稿する内容であったりタイミングをしっかりと精査した上で行なうことが大切であると。また、その情報収集を行う際にリスクヘッジが必要であるというご意見をいただきました。また、天王寺区が持っている四天王寺であったり、写真映えするような美しいスポットについてSNSで発信したり、あと広報紙で特集としてシリーズ化して取り上げることで区の魅力を伝えられるのではないかというご意見をいただきました。

また、SNSの発信に加えてですけれども、対面のイベントでもそういった歴史的な資産というのを子どもにも伝えていって、魅力を発信していくことが大切なのではないかというご意見をいただきました。

以上です。

○服部副議長

各班、どうもご報告ありがとうございました。

議題につきましては、以上で終了とさせていただきます。

ここで、区役所に進行をお返しします。

○中事業戦略担当課長

竹田議長、服部副議長、ありがとうございました。

それでは会議全体を通して、末村区長からコメントをお願いします。

○末村区長

皆様、長時間にわたりまして各部会でのご議論、本当にありがとうございます。

全てを回ろうとしていたのですけれども、私は地域社会づくり班のところで少し長くお聞きをさせていただくことに結果的になりました。やはり今、目の前にある現実という部分で町会への加入の、なかなかそれが前に進みにくいということについては市議会のほうでも縷々いろんなご質問をいただいたり、こういうことができるんじやないか、ああいうことができるんじやないかというふうに取り組んでいるわけですが、現実に目の前にある、地域ごとに大変要素が異なるものを目の前にしたご苦労というふうなところもお伺いしたように思っております。

また、子育て・教育班、それから地域福祉・健康班、また情報発信班のほうにも少しづつの時間になりましたが回らせていただき、また統括の話をお伺いいたしました。

地域福祉・健康班のほうですが、がん検診については区では直接はもちろんやってはいないのですけれども、実は大阪市としては既にナッジ理論を活用して、例えば商業施設のほうに持ってきていただければ、便利に日常のご生活のペースの中でがん検診に取り組んでいただけるというようなことを取り組んでいるというようなことも実はありながらも、ちょっとそういうことを区まで一緒になって情報発信する努力みたいなところは、まだ工夫の余地があるなというふうにも思いましたし、そのほかに情

報発信のほうも長く続けてこられた商店会連盟の皆様方のお取組などの積み上げてきたことのパワーみたいなことも教えていただいたようにも思っております。

本日いただいたご意見をしっかり運営方針の細かい言葉、一文字一文字の中にでもしっかり織り込んでいけるように取り組んでいきたいというふうに思った次第です。本当にありがとうございます。

また、こうやってたくさんの方とお話しいただけますと、日々はどうしても眉間にしわがよりがちなこともたくさんあるのですが、とても勇気づけられもいたします。朗らかに楽しい思いで取り組みたいなというふうにも思ったところでございます。本当にありがとうございます。

私のところでちょっとそのまま流してしまって恐縮ですけれども、金子委員にこの後コメントをいただく予定になっておったのですが、ちょっとどうしても急遽お出にならなきゃいけなくなったものですから、私のほうからで、コメントをお預かりしていますのでご共有をさせていただきます。

前期の区政会議のほうからもずっと長くご出席をいただいている中で、やはり金子議員も私が申しましたのと同じように、自分が気づいてなかったこと、やはりふだんちょっとお聞きできなかったようなことがこの場で聞けるということをとても感謝しておられます。そのことをぜひ皆様方に改めてお伝えをいただきたいということでした。

また、前期（第1回区政会議）の話題なんですが、これはちょっと私の感想も入るのですが、がん検診、それからいろんな数値が上っていかなくちゃいけないようなものがなかなか長い期間上げ切らないでいるようなものは、そのままにしておいては駄目よということもしっかりご指摘をいただいて、そこについても区の担当課のほうもしっかり具体的に進められる方法を今検討してくれているというようなこともあります。そういう場が、この区政会議だなというふうに心から感謝をしております。金子委員のほうからお預かりしたコメントも併せて私のほうから発言をさせていただき

ました。

本当に長い時間ありがとうございます。

○中事業戦略担当課長

本日は、竹田議長、服部副議長、委員の皆様、多くの貴重なご意見をいただき。

○平嶋委員

公募委員の平嶋です。どこで言つたらいいのかちょっと分からなかつたのですけども、この事前の意見・質問に出したんですけども、タワーマンション等について、やっぱり都市計画づくりの論議を進める場をつくってほしいということについての回答がありませんので、ぜひともこれお願いします。周りから、やっぱりいろんな面で不安の声を聞いてますからということです。

それともう一つは、教育会議が廃止になって新たな組織になったということについては私もこれ賛成しますが、やっぱり前の区政会議の委員と、それから現場の教員とか校長先生とか、そういう場もつくってほしいなというふうに思います。

すいません。以上です。要望ですから回答は要りません。

○中事業戦略担当課長

どうもご意見ありがとうございます。

それでは本日は、竹田議長、服部副議長、委員の皆様、多くの貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。

それでは以上をもちまして、令和7年度第2回天王寺区区政会議を終了させていただきます。

お帰りの際、令和7年度区政会議に関するアンケートを、本日ご提出いただける委員におかれましては出口のところで回収させていただきます。

本日はどうもありがとうございました。